

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

## 南極昭和基地紀行

まずは自己紹介 平成14年に海上自衛隊を退職した吉田です。平成15年6月からZFCに所属して作業をしております。何か原稿文を書いてくださいとのこと、悩んだ末、滅多に行けない場所「昭和基地」に行ったことを文にします。

昭和59年、遠洋航海の話が有り、自分としては、即OKを出したのですが、「10年も艦に乗っていない人は、ダメ」と艦の方から断られる始末。そうこうしているうちに、蒲田に有る「富士通システムラボラトリー」でミニコンピューターU-1500の講習を受けてこのこととで4月半ばから富士通の新入社員と一緒にミニコンピューター・周辺機器・カラーディスプレイ装置など最先端機器を勉強し始めました。この機器が何に使用されているか、1ヶ月ぐらいしてから「しらせ」搭載の気象データ処理装置と分かり「しらせ」に乗艦できるのかなと内心期待しました。気象データ処理装置は気象衛星からの各種衛星写真を解析し氷の厚さ、乱氷帯の位置を探る装置です。

講習終了後「しらせ」乗艦が決まり、第26次南極観測支援行動に行ける事となりました。私の職種は電子整備員。レーダー、通信機器、タカン等、電子と名が付く機器のすべて整備、修理を行い、補用品の整理、格納等諸々。その他にビデオ放映係、その為、日本に居る間にビデオテープ200本の録画を実施しなければなりません。乗員の半数が交代しますので1ヶ月かけて慣熟を兼ねて日本1周の広報航海、その後、輸送物資を搭載し11月中旬に出港、一路オーストラリア(フリーマントル)へ、赤道を通過しロンボック海峡通りインド洋に出ます。2週間ほどでフリーマントルに入港、ここで1週間休養と生鮮食料搭載、燃料搭載等、外出は西側の大都市パースまで市内観光と土産購入(コアラぬいぐるみ、ヒツジの毛皮等)。滞在している間に日本人会の現地の方がソニーのビデオデッキが壊れたから修理してくださいと持ってこられました。分解したら抵抗が焼損しており手持ち部品と交換したら正常に動作し出港時、ワイン2本持ってきてくれました。ラッキー！

いよいよ南極海に向かいますがその前に荒天準備(あらゆる物の固縛)をします。しらせは砕氷艦なので動揺止めが無く船体には無駄な突起物が無くツルとしています。その代わり海水の移動で揺れを少なく出来る動揺修正装置があります。どのくらい揺れたか記憶にありませんが確かに良く揺れ艦首の錨穴から巨大な間欠泉2本噴き上がります。これが治まりますと、冰山が見え始めます。初めは小さかったのがだんだん大きくなりペンギンやアザラシが乗っている光景が見られようになり、終いには一面白い氷になります。1m50ぐらいの1年氷は楽に割れるのですが、乱氷帯はそうは行きませんチャージング(ただの前進後進の繰り返し)を行います。直流モーター3軸で前後進し突破します。夜航海はしませんから、アイスアンカー(氷に穴を開け丸太を差し込み)にロープを掛け停泊します。ある朝、うるさい皇帝ペンギンを目撃しました。そのロープに向かってギャーギャーわめいているのです。「俺が歩道に何でこんな物があるのか」文句を言っているようでした。艦尾の砕氷した航跡には、黒い点々が多数見えました。それはアザラシが寝そべて居る姿でした。

そうこうしているうちに昭和基地沖に到着 日本から持ってきた大型荷物の陸揚げと燃料移送用パイプライン作りが開始されます。私は基地ヘリポート開設のためUHF無線機とアンテナを持ち氷上を歩いて基地に向かいます。陸地の印象は、茶色の砂と石がごろごろ、目の前は雲母粉が飛び交いキラキラ、観測棟はオレンジ色。その他に何の建物か？建物があちらこちらに見える程度 私達(自衛隊員)と夏隊員が使用出来るのはレークサイドホテル。防水シートを底に敷き土手を築き雪解け水を貯めた池が

ありそのそばに有る飯場棟のことです。ここで寝食します。取りあえず無線機とアンテナを航空管制室に設置し電波が出ることを確認し航空管制官に引き継ぎ、また歩いて帰りますが白い氷の大地と青い空とオレンジの船体が目に焼き付きました。これから1ヶ月半の雑務(建設労務作業)に追われ1週間交代でレークサイドホテル泊まり込み作業します。時間は8:00~11:30 13:00~17:00午前午後作業に従事します。それ以外は自由で昭和基地の散策(石拾い)ガーネットの入った小石を探しに出かけます、太陽が沈まないので時間間隔がありません。氷の割れ目に豚肉の赤身をエサに糸を垂れる釣りをしました、良く釣れます。「昭和キス」と言いますがハゼですね。酒のつまみになりました。合計で20日ほど基地に居ましたが、綺麗な石を採取(現在持ち出し禁止)するのがメインだったみたいです。予定作業が終了すると抽選で大陸の観測飛行が当たり白瀬氷河を見に行きました。夜が始まる2月中頃基地を離れオーロラを見ながら帰路につきます。

帰りはヨーロッパのハワイと言われる、インド洋のモーリシャス(ポートルイス)に入港、今まで白と青い海だったところに山の木々の緑とサトウキビの緑が何とも言えない気持ちになりました。プライベートビーチはトップレス。目の保養、それからシンガポールによって日本に帰航、その間私は、本職の仕事はなく木の台に採取した石を接着し砂をまぶし木彫りのペンギンを接着する、お土産作り(約60個)今のバランストンボ作りみたいなことをしていました。

4月中頃晴海入港。仕事で行ったのですが、とても楽しい貴重な体験が出来ました

吉田 光雄



## 1. 6~7月の活動報告

- ① 6月26日(土)曇 22名 製材、クヌギ林下草刈り、炭出し(ドラム缶窯)、駐車場草刈り
- ② 7月3日(土)曇 23名 竹林整備、クヌギ林下草刈り、炭出し(本窯)、皮むき、ドラム缶窯屋根改修
- ③ 7月10日(土)晴 22名 クヌギ林下草刈り、ドラム缶窯屋根改修
- ④ 7月17日(土)晴 23名 クヌギ林下草刈り、竹林整備、運営会・勉強会
- ⑤ 各水曜日ほかに準活動日として木工作业を実施



ドラム缶窯小屋の屋根を高くしました。同時に雨樋を設置しましたので、雨天時も快適に作業ができそうです。

身長185センチの方でも頭をぶつけません！

## 2. 7月度運営会報告 -7月17日開催-

- ① 8月の作業打ち合わせ -3項参照-
- ② 土曜日の炊事当番は、「味噌汁」当番とする(手間と時間を掛けない)
- ③ ZFC20周年記念イベント検討<プロジェクトメンバ:佐野・片岡・村松・鈴木・赤羽・竹内・林>
  - 1)日時・場所:10月9日(土)、予備日10月23日(土)。炭小屋にて
  - 2)出席者:会員、センター職員・野鳥の会代表・友の会役員他50名程度
  - 3)その他行事予定
    - ・記念標柱作成:頭部にフクロウ彫刻を載せたもの(2本)を現在の門柱と差し替える
    - ・記念バッジ(会員証を兼ねる)作成
    - ・ZFCパンフレットの見直し:次ページの現行チラシを改訂したいところを片岡さんにお伝えください
    - ・記念誌の発行は取りやめ(取りまとめる人材不在のため)
  - 4)予算措置(7月24日決定予定)をして製作等準備に入る
- ④ 勉強会:ZFCブランドについて

総会で議決された「ZFCブランド(ZFCらしさ)」を確立する件について、先月同封したアンケート集計途中状況と、ブランドについての基本的考え方を学んだ。

★先月、同封したアンケート用紙に皆さんの思いを是非記入して提出ください。

内容や書き方については項目の枠(や集計途中状況など)に囚われず自由に記入いただいてOKです。

記入いただいた項目一つひとつを議論するのではなく、多くの意見に底辺に流れる通奏低音のようなものを探していきます。

それがブランドや「~らしさ」につながります。ですから、意見が多いほど探し易くなります。

## 3. 7~8月度活動予定

- ① 7月31日 準活動日扱い。横浜栄高校受入(午後。竹内・片岡・藤原・鬼塚・鈴木・村松・吉田・張間)
- ② 8月7日 炭小屋の整理(板材の整理)、炭材作り、暑気払い(午後。担当:大越・張間・鈴木・林)
- ③ 8月14日 炭小屋の整理(板材の整理)、下草刈り(クヌギ林)。味噌汁当番:谷垣、片岡、下谷
- ④ 8月15日 森を守るボランティア体験。対応:関根、橋詰、(片岡、藤原)
- ⑤ 8月21日 トウネズ等除伐(場所:長倉町方面 or クヌギ林)、運営会(午後)。同:加藤、山田、赤羽
- ⑥ 8月28日 製材、炭出し、炭小屋整備、道具の手入れ、クヌギ林管理作業。同:村松、吉田、武田
- ⑦ 毎水曜日:準活動日

## 4. 編集後記

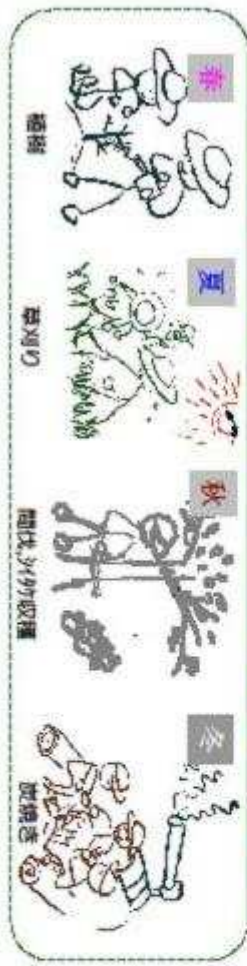
- ① 今回の巻頭コラムは吉田さんです。少しは涼くなりましたか?世界の中でも行くのが大変な南極に行かれた話でした。記事に書き切れないようなことが一杯あったと思いますので、機会をみつけて聞き出してみましょ。30年近く前、ロケット打上げ越冬隊に派遣された社員が持って返った南極の氷がコップの中で「ピチッ・ピチッ」と涼しげな音を聞いたのを思い出しました。
- ② 20周年記念事業が具体化してきました。記念パーティまで時間が2ヶ月強ですので、皆さん積極的に参画しましょ。
- ③ どうも今年は猛暑のようです。熱中症にならないために、常に水分補給ができるような態勢を整えましょ。

以上

★ ZFCチラシの改訂: こういう風にしたいと言うアイデアを片岡さんにお伝えください。  
 - 現物はA3サイズです -

Zunkooyou F00 C-hub  
**私たちは 雑木林フロンティアです!**

雑木林が大好きな私たちは、草刈り・間伐・炭焼きなど  
 楽しみながら、森を作り、育て、守る活動をしています



- 主な活動**
- ◯森の管理保全 雑木、下草刈り、間伐、植物観察
  - ◯間伐材の活用 炭焼き、堆肥作り、ソイタケ栽培、木工品、竹細工、ペンチ作りなど、
  - ◯ふれあい・交流 森づくり体験講座のサポート
  - ◯その他か 草木染め、紙漉きなど

身近に暮る横浜市の雑木林の育成と保全・管理を中心に、自然を守る活動をしているボランティアグループです。市民の方々に憩いの場を提供し、また自然に親しんでいただけるよう、そして何より「自分たちも楽しく」をモットーに、わきあいあいとした雰囲気の中で、四季を通じ、からだを動かしています。あなたも参加してみませんか。



ヒノキの間伐



本家で焼いた炭

正式な名称	横浜自然観察の森友の会雑木林フロンティア
設立した日	1989年3月
現在の会員数	約70名(20代~70代)
活動場所と連絡先	横浜自然観察の森 横浜市栄区上郷町1562-1 045-894-7474(自然観察センター)
定例の活動日	毎月/第1・2・3・4土曜日 10:00~15:00 自由活動日: 毎木曜日(ペンチ作り等)
主な受賞	2000.7 横浜市環境保全活動賞 2001.6 環境大臣賞環境保全功労者表彰 2002.11 (社)国土緑化推進機構功労者表彰 2002.11 神奈川県立上郷高校感謝状



**会員募集中! 随時受け付けています!**